

# グリーン成長に関する若手ワーキンググループ（グリーン若手WG）報告書 「自分ゴトにするために **共感**から始めるカーボンニュートラル」

- 昨年12月の立ち上げ以降、経産省（本省、地方局）、企業、大学、研究機関（NEDO・産総研）の**若手計76名（平均年齢30歳）**が集まり議論。
- 委員以外にも、他省庁や自治体職員、地方の中小企業等、**様々なステークホルダーを交えた議論**を実施。

## 若手だからこそ提示できる視点とは

- 2050年も現役であり続ける世代であり、自分ゴトとして考え、行動することができる。
- これまでの固定概念や立場・役職にとらわれず、自分たちの目線で考えることができる。 等

## 議論の結論：“やらされ”ではなく“**自分ゴト**”としてカーボンニュートラルに取り組める環境をつくること

これを実現するためには、**個人の価値観の多様性**を踏まえて

①カーボンニュートラルに取り組むことへの**納得や共感を得ること**、②具体的に取り組む**行動が明確化されていること**が大切。  
そのため、まず国がビジョンと指標を設定し、現状を把握する仕組み構築などを行うことが必要。

### ビジョンと指標の設定

- 1) サステナブル指標の設定

### 現状把握・行動の仕組み構築

- 2) 行動の可視化
- 3) データの可視化
- 4) コストの可視化

### プロセスの設計

- 5) 炭素循環プロセスの構築
- 6) 人材育成

## 議論を継続的に進めていくために

- 積極的な広報
  - ✓ METI HPやスペシャルコンテンツ、ネットメディア等も活用し、報告書を様々な層に届ける。特に若手世代が**カーボンニュートラルについて考えるきっかけ**となることを目指す。
- 若手WGの枠を超えた議論を展開
  - ✓ 既に地方局で若手WGの議論を題材にした**若手向け勉強会**を実施した他、**採用イベントを活用して学生と議論**予定。
  - ✓ 政策の実現に向けて、省内関係課室とも議論中。**言いつばなしで終わらない活動**に。